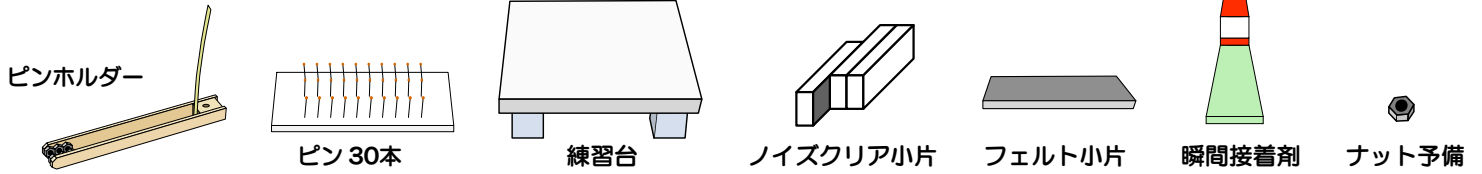


ピン刺し確認セットの使用法

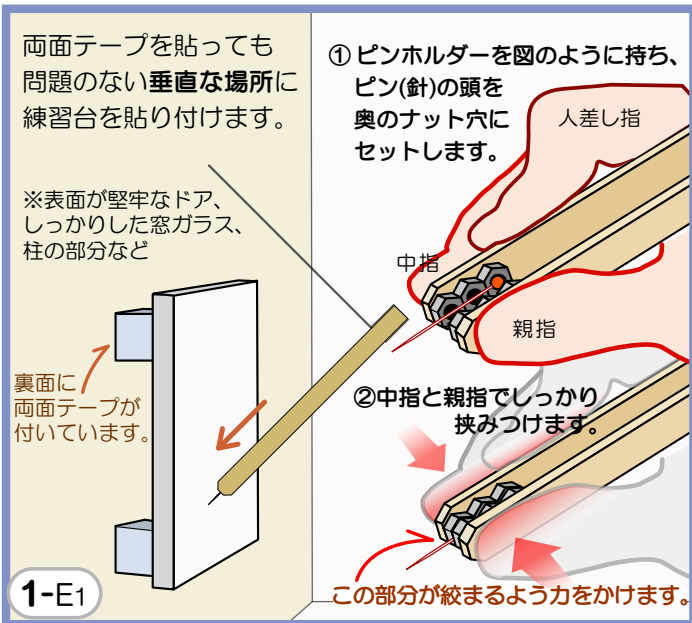
内容物をご確認下さい。



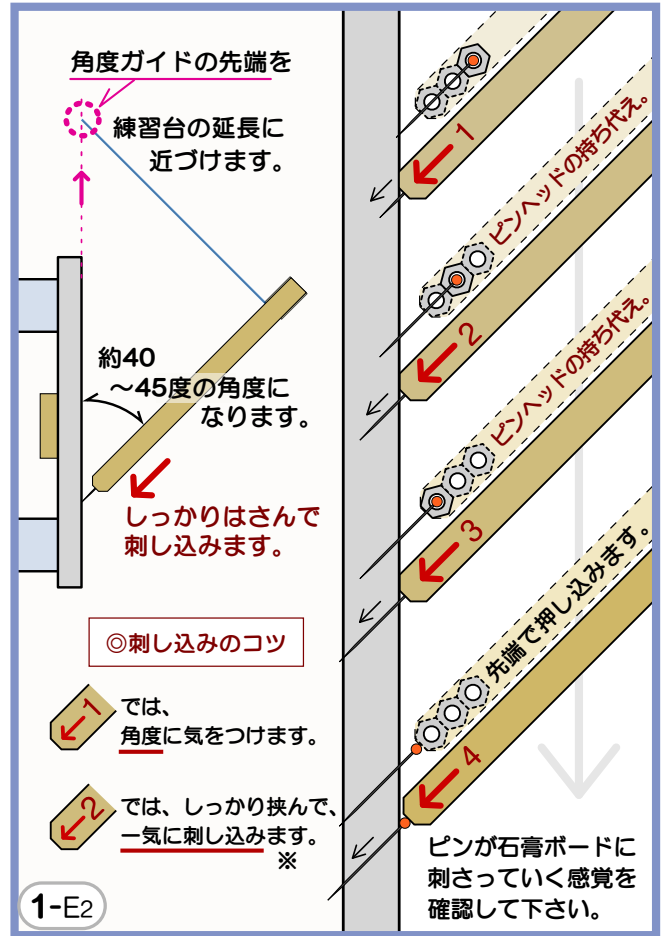
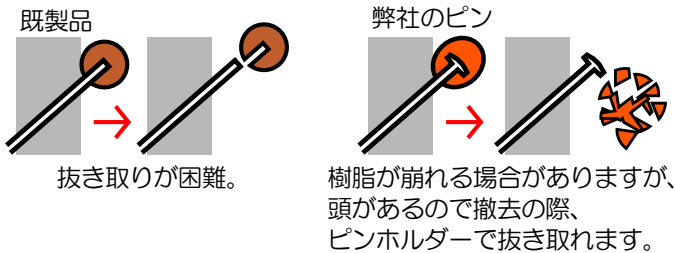
ピンの台座のウラは、シールになっています。
台座が軽いため、ピンを取ろうとしても台座ごと持ち上がってしまいます。練習台の端に貼り付けるとピンだけ抜けます。

※ 瞬間接着剤とナットは、ごくまれにナットが外れ、ナットがノイズクリアと壁の間に落ちてしまった時の対応です。

1. 練習台の設置とピンホルダーの持ち方



■ ピンの頭は、弊社で樹脂を付けています。



※ 2の時に針が折れ曲がりやすいので、一気に刺し込みます。

■ 刺し込む事に何の不安も感じなくなるまで練習して下さい。

◆ ピンの頭の樹脂が取れても構わず刺し込んで下さい。固定作業、保持力に影響はありません。

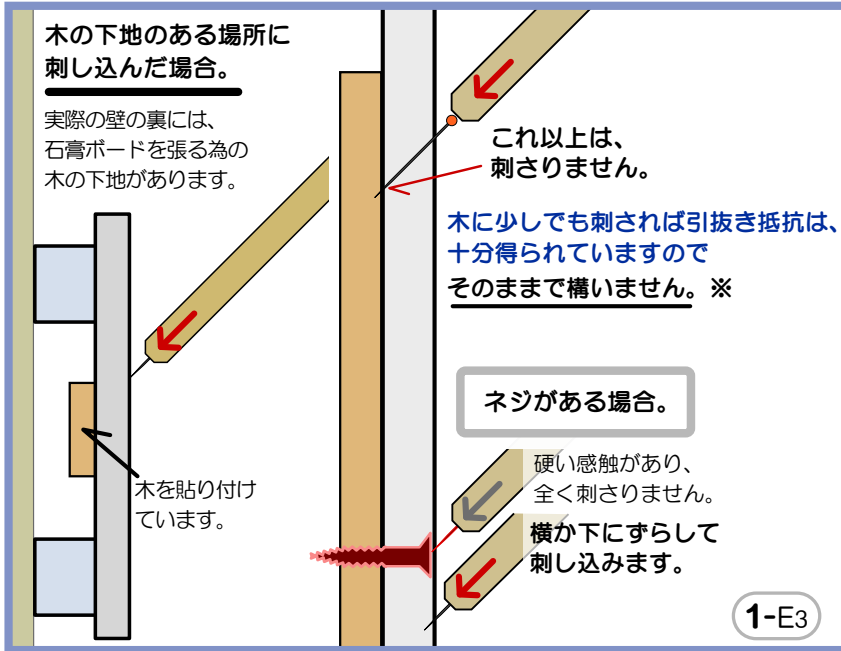
※ 赤い樹脂は、視認性を高めるために付けています。

A. 刺し込みに慣れてきましたら、設置する壁に刺せるか確認して下さい。

ご注意：フェルトを介さずに直に刺す場合は、抜き取りを考えて2,3ミリ残して下さい。(全部刺すと抜き取れなくなります。)

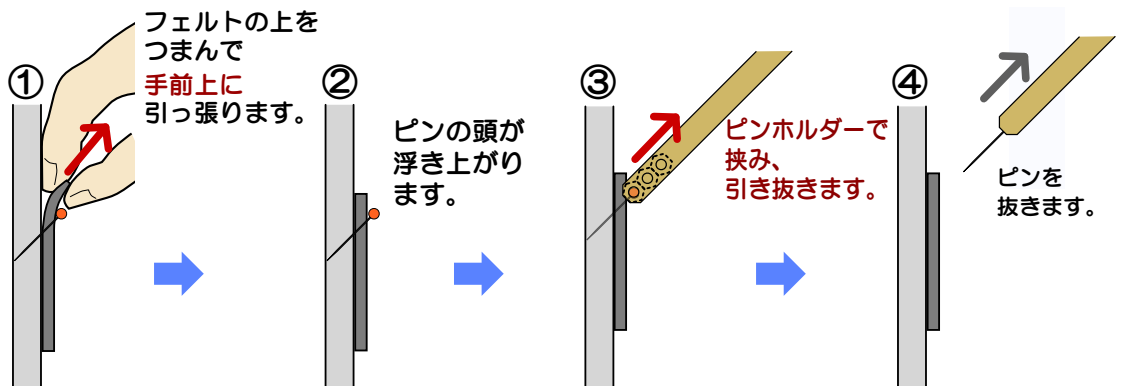
B. 付属のフェルト越しに3本刺し、刺し終わったらフェルトを水平に引っ張って引き抜き抵抗を確認して下さい。

● ピンが刺し込みにくいケース



* 針先が木に少しでも刺さっていれば、石膏ボードのみよりも保持力があります。

■ ピンの抜き方



● ピンホルダーのナットが取れてしまったら、瞬間接着剤で接着します。

